

学びの領域 3コースから自分の進路に合った学びを選べる。

<h3>社会公共コース</h3> <p>公的機関等における法律を学ぶ</p> <p>国や地方自治体の運営のために必要な知識を修得します。国家・地方公務員、警察官、行政書士等の士業をめざす人に最適なコースです。教員や団体職員に役立つ知識も学べます。</p> <p># 人権 # ジェンダー # 犯罪学 # 国際社会 # 社会保障 # 環境 # 公共政策</p>	<h3>ビジネス法コース</h3> <p>社会で必要な法的知識を修得</p> <p>契約、財産関係、会社や労働問題等、市民生活に不可欠な知識を修得し、民間企業への就職や起業に必要な法的知識を身につけ、実践的な応用力を養います。</p> <p># 企業取引 # 金融・保険 # 危機管理 # 契約 # 消費者 # 知的財産 # 労使関係</p>	<h3>特修コース</h3> <p>双方向で多様な価値観を学ぶ</p> <p>教員と学生との双方向スタイルで行う少人数での演習の機会を多く設けているコースです。ディスカッション等で多様な価値観に触れ、法学における多角的思考やバランス感覚を修得します。</p> <p># 人権 # 公法 # 私法 # 訴訟手続 # 司法試験(法科大学院) # 国家公務員 # 判例研究 # 展開演習</p>
---	---	--

学びの流れ “法の知識”と“考える力”を段階的に身につける。

卒業基準単位数: 128 教養的科目: ≥26 専門科目: ≥92	1 法学の基礎力を修得する 年次	2 専門科目・ゼミナールで学びを深める 年次	3 ゼミナール・実践系科目で応用力を養う 年次	4 ゼミナール論文を執筆する 年次
※2026年4月1日入学者の場合。 ※教養的科目および専門科目の必要単位数は数値以上を得得し、卒業基準単位数を充足します。	基礎力を修得し、「基礎ゼミナール」をとおして2年次からの専門的な「ゼミナール」の学修に備えます。	コースを選択し、それぞれ特色ある専門科目を履修・議論を中心とするゼミナールも本格的に始まります。	卒業後の進路を見据えた、4年間の学びの成果をまとめるゼミナール論文を作成します。	
必修科目	○学修の基礎Ⅰ			
共通科目群 *は選択必修科目	教養的科目	○立正大学と石橋山Ⅰ ○仏教入門* ○仏教と人間 ○データサイエンス入門*		
	専門科目	○憲法入門* ○刑法入門* ○民法入門* ○政治学入門* ○憲法(人権)* ○刑法総論* ○民法総論 ○政治学	○学修の基礎Ⅱ* ○法からみる現代社会2 ○法哲学 ○民法法史 ○アジア法 ○英米法 ○憲法(総論・政治機構) ○行政法総論 ○行政作用・租税法 ○民法(人権) ○刑法総論 ○民法(債権法総論) ○契約法 ○不法行為法 ○家民法 ○企業取引法 ○主権者教育論 ○政治学原論 ○政治思想史 ○行政学 ○経済学Ⅰ(ミクロ経済) ○経済学Ⅱ(マクロ経済)	○行政法各論 ○民法 ○比較憲法 ○警察行政法 ○行政救済法 ○国際公法 ○国際人権法 ○社会福祉法 ○刑事訴訟法 ○刑事政策 ○担保法 ○民事訴訟法 ○金融法 ○保険法 ○債権処理法 ○民事執行・保全法 ○職権法 ○知的所有権法 ○消費者法 ○政治制度論 ○地方自治論 ○国際政治
選択必修科目・選択科目	演習科目	○基礎ゼミナールⅠ* ○基礎ゼミナールⅡ* ○異文化コミュニケーション特別演習Ⅰ	○外書講読 ○民法応用演習Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ ○社労士法総論 ○社労士実務演習 ○行政書士実務演習 ○土業実務フィールドワーク ○矯正保護実務フィールドワーク ○公務員実務フィールドワーク ○国会議員秘書フィールドワーク ○民間企業フィールドワーク	
		○ゼミナールⅠ ○ゼミナールⅡ	○ゼミナールⅢ ○ゼミナールⅣ	○ゼミナールⅤ ○ゼミナールⅥ ○ゼミナール論文
コース別選択必修科目	社会公共コース	○社会安全法制度 ○犯罪学 ○市民協働論 ○ジェンダー法	○東洋法思想史 ○少年法 ○外国民法	
	ビジネス法コース	○会社法	○会社法[ガバナンス] ○企業と危機管理 ○企業会計法 ○支払決済法 ○金融商品取引法 ○労使関係法	
	特修コース	○公法展開演習 ○私法展開演習	○特修演習Ⅰ ○特修演習Ⅱ ○特修演習Ⅲ ○特修演習Ⅳ	

※上記は主な専門科目です。このほか教養的科目として、情報処理の基礎、英語Ⅰ、アカデミック・ライティング等多数の科目があります。
※学期間相互履修制度がある学部もあります。詳細は各学部へお問い合わせください。 ※カリキュラムは変更される場合があります。

<h3>公法展開演習</h3> <p>公法分野の時事問題や法的・政策的課題に対する解決策について教員・学生間で議論を重ね、多様な価値観とバランス感覚を修得します。</p>	<h3>少年法</h3> <p>刑務所と少年院の違いなどを学び、少年法の意義について理解を深めます。講義では、条文だけでなく、データや時事問題も扱います。</p>	<h3>行政書士実務演習</h3> <p>行政書士会とのタイアップ授業です。現役の行政書士によるレクチャー形式の講義と演習をとおし、行政書士に必要な技術を修得します。</p>
---	---	---

■時間割イメージ(3年次・社会公共コース)

	MON	TUE	WED	THU	FRI	SAT
1				国憲環境法		
2	民法応用演習*	行政法総論		行政書士実務演習	労使関係法	
3		比較憲法	犯罪学			
4			地方自治論		ゼミナールⅥ	
5	主権者教育論					
6						

サマーセッション(集中講義): 公務員実務フィールドワーク

■ゼミナール論文テーマ

- 自己決定権と生命倫理
- 情報化社会におけるプライバシー問題
- 特定少年に対して矯正で期待される役割
- 原子力賠償制度の概要とその限界
- 警察官の拳銃発砲について
- 児童虐待とネグレクト—量刑的差異の検討—
- 内部統制システムとブラック企業
- 学校の事故と国家賠償請求訴訟
- 労働における男女平等と男女共同参画社会
- スポーツを通じてのまちおこし
- インターネットを介した詐欺罪について
- マンションの管理に関する諸問題の検討
- リーグチームにおける適切な法人形態
- プロ野球で観戦中の事故と関係当事者の不法行為責任
- 生活保護制度の現状と課題
- 株式会社立学校による教育の多様化
- スペースデブリ(宇宙ごみ)問題と宇宙条約

(ほか)

進路・就職 確かな知識と思考力で 公務員や士業を中心に活躍。

よりよい社会のために、実用法学の素養をもち能力を発揮できる人材を育てます。

学科で身につく力

- 1 法に関する知識とそれを適切に活用するために必須のバランス感覚
- 2 国家・地方公務員、行政書士等 法律・行政の実務家になるための実力
- 3 国際社会で活躍するための語学力 法書に必要な論理的思考力

■資格・免許

詳しくはP.130へ

【法職】

- 宅地建物取引士*
- 行政書士*
- 司法書士*
- 社会保険労務士*
- 税理士*

○図書館司書

- 博物館学芸員(任用資格)

*は資格試験に合格する必要があります。

合格・取得サポート講座

- 国家公務員 ●地方公務員 ●裁判所事務官 ●国税専門官 ●財務専門官 ●労働基準監督官 ●行政書士 ●社会保険労務士 ●宅地建物取引士
- [対応講座] 公務員試験対策講座/行政書士課外講座/社労士講座/宅建講座/民間就活入門講座/就活徹底サポート講座

【教員免許】

- 中学校教諭一種免許状(社会)
- 高等学校教諭一種免許状(地理歴史)
- 高等学校教諭一種免許状(公民)
- 学校図書館司書教諭(任用資格)

【行政職】

- 社会教育主事(任用資格)
- 社会福祉主事(任用資格)

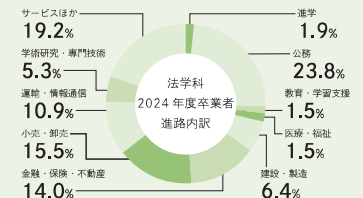
■進路・将来像

- 国家公務員・地方公務員
- 警察官・消防官
- 裁判所事務官
- 労働基準監督官
- 国税専門官
- 財務専門官
- 家庭裁判所調査官
- 裁判官・検察官・弁護士
- 社会教育主事
- 社会福祉主事
- 行政書士

- 司法書士
- 社会保険労務士
- 税理士
- 中学校社会科教諭
- 高等学校地理歴史科教諭
- 高等学校公民科教諭
- 学校図書館司書教諭
- 図書館司書
- 博物館学芸員
- 法科大学院進学
- 民間企業全般 等

■主な進路

法務省、厚生労働省、財務省関東財務局、千葉地方裁判所、東京都庁、神奈川県庁、埼玉県庁、渋谷区、品川区、さいたま市役所、警視庁、東京消防庁、株式会社千葉銀行、住友不動産ステッパ株式会社、野村不動産ソリューションズ、株式会社マイナビ、株式会社SUBARU ほか



Topics

公務員や各種資格取得のための課外講座が充実

「公務員試験」「社労士」「宅建」等、各種試験対策の課外講座を学部で独自に開設しています。学部の授業の進捗と連動して受講することで、受験まで切れ目のないサポートを受けることができます。